

# いまどきの若手職員が考えていること

いまどきの若手職員が考えていること・・・協会の幹部職員にはドキッとするようなタイトルですが、こんなタイトルを付ける感性そのものが「いまどきの若手職員」からズレていると言われそうです。集まっていたいたのは、居宅部2名、施設部3名、児童館1名の若手職員、計6名の皆様。まずは「いまどきの若手職員」の声に耳を傾けましょう。どんな声が聴けるのでしょうか。



左から/天野杏奈さん(西院)、田中智也さん(本能)、福島のみみさん(居宅本部)、東口珠美さん(明德児童館)、長尾龍樹さん(醍醐事務所)、谷口祐希さん(塔南の園)

## みなさんが働いている職場の環境はどうか。

**天野:** 職員の仲が良く、ご利用者からも「あんたら仲がいいねえ」と言われます。休みもとりやすく、仕事の疲れを癒すこともでき、よいバランスがとれています。

**長尾:** 居宅部門も職員の関係性がよく、休みが取りやすいです。

**谷口:** 私は、異動して管理栄養士になったばかりなので、全ての部署とかかわらないといけない立場になります。異動して間もないですが、情報共有がしやすく働きやすいと思います。

**東口:** 児童館も職員は仲良く、休憩時間にプライベートの話ができる関係です。子どもたち一人ひとりに対しても、全員で関わったり、役割をきめて解決していこうという姿勢があります。私の場合、通勤に時間がかかるのはしんどいですが、それをカバーできるくらいよい環境だと思っています。

**福島:** 以前の事業所になりますが、居宅部門は若い職員が少なく、さみしいです。

**長尾:** そうですね、同世代はいないですし、居宅の男性では一番若くなります。30歳になったので、20代の相談員は誰もいなくなりました。男性と女性で違いはあるでしょうが、年上の方に話を合わせていく感じでうまくやっています。

**田中:** 施設に自分が入職したときは、どちらかといえば20代が少なく年上の方ばかり。趣味の合う人とコミュニケーションをとっていくうちに話ができるようになりました。男子会を作って、フロアを超えて飲みに行ったりして打ち解けました。今は、20代の職員や男性職員が増えてきたので、自分が感じたようなさみしい思いをしないようにフォローしています。

**天野:** 職場に同じ年の女性がいるのでよく話しますし、ご飯も行きます。元々プリセプターで最初から良い相談相手です。年上の方でも、いいお父さん、お母さんとして相談に乗ってもら

ったり(笑)そんなにジェネレーションギャップを感じたりはしないです。

**谷口:** 最初、母親世代の方が多かったのですが、私が昭和の歌謡曲が好きなので話が合ったのかもしれない。ギャップを感じることもありましたが、それも面白く感じていました。

**東口:** 児童館は、普段から子どもと接しているからか、皆さん精神年齢が若くてエネルギーが豊富。そんなにジェネレーションギャップは感じないです。

## 働き始める前と後で今の仕事の印象に違いはありましたか。

**田中:** 本能の施設は全室個室です。働く前は一人でユニットのご利用者全員に関わらなくてはいけないことや、一人で待機することにごく不安でした。実際やってみると、同じフロアでは隣のユニットに職員がおり、インカムもあってすぐ呼ぶことができるので、安心につながりました。ボタン一つで話せるので、コミュニケーションが増えましたね。

**谷口:** デイサービスで介護職だったときは同じ職種が周りにいるのが当たり前で、分からないことはすぐに聞け、教えてもらいました。9月に管理栄養士として別の施設に異動してからは、誰にも聞けず不安が大きいです。他施設の管理栄養士に教えてもらいますが、常に聞くわけにもいかず、手探りです。今はそんな時期なのかなと思っていますし、やりがいも感じています。

**福島:** ヘルパーさんのリーダーや職員に一から指導してもらいました。はじめは「何もできない相談員」と思われていたのは、どうやったら認めてもらえるのかと考えて、「ヘルパーさんと一緒に支援して、動ける相談員になりたい」と思いました。何かあれば自分で走って自分の目で見て判断することを心掛けるようになり、信頼関係が得られるようになりました。

**長尾:** 僕は訪問介護未経験で入りましたが、現場で働くヘルパ

ーさんはこんなにも高齢の人が多くのかと驚きました。ヘルパーさんの仕事は、ご利用者とゆっくり関わっているイメージがありましたが、実際は時間が決められていて、1時間ずっと働きっぱなし。相談員も同様で、いろんなことが次から次へと起こってバタバタしているので、印象と異なりましたね。

**東口：**実際働いてみると子どもは子どもなりのしんどさを持っていて、元気で明るいだけの存在じゃない。子どもだと思っただらすごく大人びたことを言ったり、職員と同じ目線で考えていたり。最初に苦労したのが、高学年の子どもたちが「1年目の職員」という扱いをしてきたこと。何を伝えても子どもに響かない。でも徐々に話してくれるようになり、認められるようになって気持ちが変わるようになりました。もっと子どもたちに関われるのかと思っていたら、日々の事務仕事に追われ、子どもの要望に応えられないのが心苦しいです。

**天野：**大学で、福祉を学んでいましたが「高齢者のお世話をする」というイメージがあり、「介護技術を学ばなければ」という思いで就職しました。しかし、働くようになってから、お世話というよりも人生に寄り添って、笑顔を支えることがこの仕事なのかなと思うようになりました。

#### 将来について考えていることはありますか。

**東口：**通勤時間が長いので、このまま働いているのか20年後は想像つきません。働いているお母さんを見ていても送り迎えが大変で、自分には無理だと感じていて…。

**天野：**今は毎日の業務を終わらせることに必死で、将来のことがイメージできないです。なりたかった生活相談員にもなれ、今はとりあえず頑張りたい。そこから将来のイメージが持たらと思っています。

**長尾：**給料の面ですごく迷っています。福祉業界って全体的に低く、結婚して子どもが生まれると、今の給料では正直厳しい。

**谷口：**一番なりたい職種につけたので、できる限り長く続けたい。20代前半なので、あまり将来のことが想像つかないというか、自分もいずれは結婚や出産など考えないといけなくなるのかなと思っています。

**田中：**4月からユニットリーダーになり、今はチームとしてやっていくことを目標に頑張っています。20年後はわかりませんが、5、10年後に別の職種や他施設を経験できたらいいなと思っています。夜勤の有無で給料はだいぶ変わりますが、正直20年後は夜勤がないところがいいな。

**福島：**給料面でちょっと考えることがあります。居宅部は仕事の評価制度がありませんし、同じ相談員でも業務負担に差があるように感じます。実は、転職を考えたこともあります。

**長尾：**業務負担に差がありますよね。どんなに仕事が増えても給料が増えるわけではないし、やっぱり生活かかっている側から見れば給与のアップなど見える評価をしてほしいですね。

**田中：**確かに資格があるだけで給料が高いと思うと不公平だと感じます。

**東口：**児童館は、自分がどれだけの仕事をしているか、信頼されているかなど、ある程度自分に対する評価が分かる。給料を考えて転職を考えたこともありますが、他に何ができるのかと考えたとき、やっぱりこの仕事が好きだと思ったんです。

#### 協会の魅力は何だと思えますか。

**福島：**3部門が一緒になり、職員の選択肢が広がればスケールメリットがあると思います。

**長尾：**部門が一緒になることは、きっと今から進むのだろうと信じています。部門間での人の行き来が必要になってくると思います。そうなる福祉全般に興味がある人が、辞めずに協会で働くことができる。今の環境では人材流出につながるなど。

**田中：**法人が大きいので様々な場所に施設があり、引っ越しても近いところに異動ができるかもしれない。

**東口：**福祉業界での知名度が高いことが、魅力だと思っています。サービス協会というと「いいね」と周りからも言われますし、児童館で有名なのかと思ったら、高齢者分野が主でした。

**谷口：**もともと管理栄養士で働きたかったのですが、最初はデイサービスの介護職員として働くことになりました。1年半で異動が叶い、ちゃんと希望を聞いてもらえたということがうれしかった。周りの職員が産休を何度か取り、復帰したと聞いて、福利厚生がしっかりしているってすごいなって思いました。

**長尾：**プリセプターシップ制度があって、一から教えてくれるので、不安が取り除かれると思いますね。あとは休みが取りやすい。特に子育て世代のお母さんとか働きやすいだろうなど。

**福島：**時間休もありますしね。

**天野：**私は法人の魅力発信チーム（施設部門の若手職員の集まり）に所属しているのですが、他の施設の人と交流し仲良くなるので、研修で会うと安心します。そういう出会いをきっかけに、お互いの愚痴も言えたりして、「明日から頑張ろう！」という気持ちになれるのが良いと思っています。

#### 最後に、協会がこうなったらいいなと思うことは。

**谷口：**徐々に世代交代が進むために、新しい世代、新しい人材が必要だと感じています。福祉はしんどいだけじゃないということを若い人に知ってもらいたいです。

**長尾：**人材がたくさんいるので、協会をよりよくしたいと思う人から意見を吸い上げられる環境、評価して昇進できる、長く働くことができる、そういう組織になってほしいです。あと、住宅手当なども考えてほしいです。

**東口：**住宅手当は児童館も考えてほしいです。

**福島：**居宅部では若い役職者が少ないです。それでは若手が育たないし、モチベーションが上がらない。昇進を目指す職員もいるので、もう少し考えてほしいです。若手のモチベーションが上げられるような制度を作ってほしいです。

**天野：**人事異動がありますが、引継ぎがないままに異動することも。そんな中で現場を支えるのは大変なので、もう少し早く内示を出してほしいなと思います。

**田中：**人事異動ですが、本能はユニット型で、他施設は従来型で現状がわからないので戸惑うことも。内示は早いほうがいいし、お試しができると、戸惑いがなくなり定着にもつながると思います。どの施設も人材不足なのではないでしょうか。限られたなかで業務をこなすのは厳しく、残業も増えます。不満を持ちながら働いていて辞めていく人も。施設内でも、部署によって有休取得に差があり、公平にしてほしいです。施設の中が全部でチームになって助け合えればうれしいですね。

# 「いまどきの若手職員が考えていること」をアンケートしてみた

## 【基本項目】対象者／20代正職員

回収数／対象者数：74名／90名、回収率：82.2%  
 部門：居宅部 6／6 施設部 66／82 児童館 2／2  
 職種：介護職 58 相談職 7 児童厚生員 2 事務職 2  
 その他（看護師、管理栄養士、機能訓練指導員） 5  
 性別：男性 24 女性 49 不明 1  
 婚姻：既婚 14 未婚 58 不明 2

### Q1 協会に就職を決めた理由 (人数)

- ① 福祉の仕事に関心があったから 27
- ② 法人としてのサービス協会に安心感があったから 9
- ③ 自分の資格や経験が活かせると思ったから 9
- ④ 給与、労働時間、休暇などの就業条件が良かったから 9
- ⑤ 職員育成の研修制度が充実しているから 3
- ⑥ 友人や家族に薦められたから 8
- ⑦ その他 9

### Q2 協会の良いと思うところ

- ① 就業条件 12
- ② 人間関係 21
- ③ 職場の環境 16
- ④ やりがい 9
- ⑤ 研修制度 10
- ⑥ その他 6

### Q3 協会の良くないと思うところ

- ① 就業条件 23
- ② 人間関係 10
- ③ 職場の環境 12
- ④ やりがい 9
- ⑤ 研修制度 6
- ⑥ その他 14

### Q4 自分の将来像(20年後の自分)

- ① サービス協会での職種のまま働いている 21
  - ② サービス協会で役職者となりバリバリ働いている 11
  - ③ サービス協会以外で福祉の仕事をしている 15
  - ④ 福祉以外の仕事をしている 23
  - ⑤ 仕事はしていない 1
- ※無記入 2、②もしくは④ 1

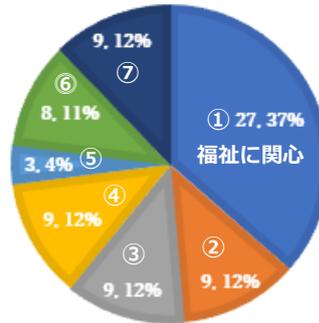
### Q5 プライベートの生活

- ① 充実している 43
- ② 充実していない 4
- ③ どちらとも言えない 27

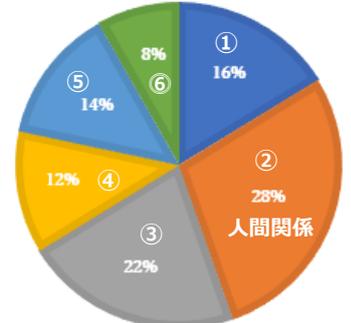
### Q6 仕事に対するモチベーション

- ① 高い方 14
- ② 普通 47
- ③ 低い方 13

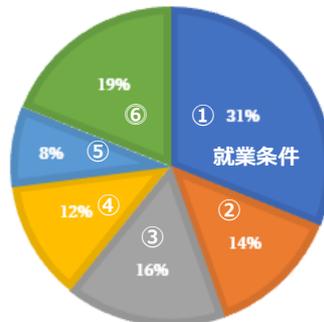
グラフ Q1  
協会に就職を決めた理由



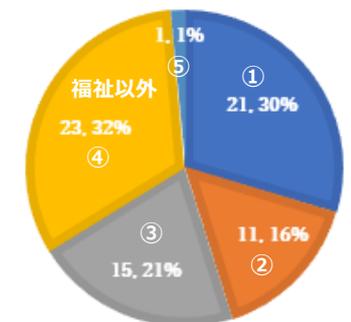
グラフ Q2  
協会の良いと思うところ



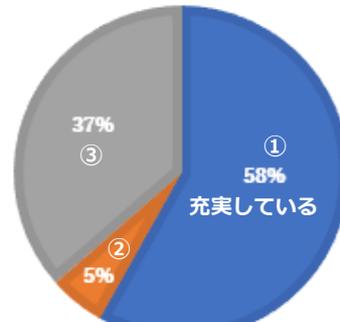
グラフ Q3  
協会の良くないと思うところ



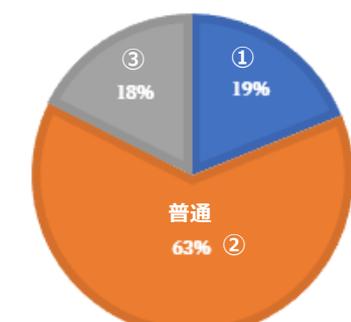
グラフ Q4  
自分の将来像



グラフ Q5  
プライベートの生活



グラフ Q6  
仕事へのモチベーション



### 【最後に】

今回は、『いまどきの若手職員が考えていること』と題し、20代の職員を対象にアンケートを実施しました。結果はご覧のとおりです。短期間での回収となりましたが、業務で忙しい中で、回収率はなんと82.2%にのびりました。自由記載欄には、貴重な意見がたくさん記載されていました。

高く評価されているのは、福利厚生がしっかりしている、プリセプター制度や研修、思っていたよりもやりがいがあり、働きやすいというようなところ。一方で、人手不足でシフトがきつい、休息が十分に取れない、気持ちに余裕が持てない等といった課題も明確に。人事異動については業務への影響が大きい側面もあるのでやり方を検討してほしい、ライフスタイルに合わせて居宅部・施設部が行き来できるようになると嬉しいという意見もありました。記載していただいた貴重なご意見は、組織として誠実に受け止めていきたいと思っております。

## 子どもと地域をつなぐ児童館 ～ あそぶ・つながる・まちが育つ ～

地域共生社会へのアプローチ・・・修徳児童館の「地域とのかかわり」について、木戸玲子館長にご紹介いただきました。

### ＝地域を知ること・児童館を知らせること＝

地元の小学校跡地に、高齢者施設修徳と共に建てられた修徳児童館は、都会の賑わいの中に、伝統と文化が今も息づく街の中にあります。9年前館長として赴任した際、歴史を守りながらも新しいものを受け入れ、まちづくりに熱心なこの地域の方々と出会い、たくさんの学びがありました。日々あたたかい見守りがある地域ですが、『まちづくり』に参加する子どもや子育て世代の姿がないこと、またマンション住まいの若い世帯と地域がつながりを持ちにくいという課題があることを知りました。

一方で地域から聞こえるのは、「児童館は放課後小学生が遊んでいるところ」という声。児童館にはマタニティママや赤ちゃんを連れたパパママ、小学生や中学生、高校生世代も遊びにきます。そのすべてを利用対象としていること、地域の子育て支援を担っているという理解も十分に伝わっていないことを反省し、「外から見える”外に見せる”児童館を目指しました。



子どもや保護者と地域を歩き、見過ごしがちな地域の宝さがしと地域のレジェンドたちに出会う遊びを展開したり、児童館が意識的に地域の人を巻き込んだ遊びを発信する中、清水寺に続く松原通りを昔のように活性化しようとするプロジェクトチームと出会いました。「イベントをしても人通りが少ない」という課題に、「児童館が参画することで、子どもや子育て世代の保護者がこの通りに賑わいをもたらすことができます」と、通りに子どものあそび場をつくることを提案しました。店舗のガレージや家の軒先をお借りすることで新たな関係が生まれ、「こんなに子どもたちがいたんやなあ」「賑やかなのはええなあ」「年寄しかない家に、久しぶりに子どもの声がかうれしかったわ」と、大勢の地域の方が軒先に出てきて、やさしい視線と言葉を投げかけて下さいました。



子どもたちにとっては楽しい遊びであり、出会いと体験の場

所であることを大切に活動でしたが、そんな遊びの中で、子どもたちが認められる場面もたくさん生まれ、学校でも家でもない場所での子どもへの視線は、子どもも大人同士も多様な価値観を認め合えるきっかけとなりました。

### ＝“コドモのミカタ”が育つ＝

先日、街灯がともる時間に裸足で泣きながら通りを走る子どもが近所の方に保護されました。「子どものことなら児童館に行っては…」と道行く人から言われたので来ましたと男性が児童館に来館。子どもは顔見知りの児童館職員の顔を見て安心し、家へと送り届けることができました。「子どものことなら児童館…」うれしい一言でした。ハロウィンや地域へ出かけてのゴミ拾い、地域行事への参加等を通して児童館が日常的に地域とつながることで、多世代の交流を育て、多くの方々に“見守り”がはぐくまれ、子どもや子育てについて語り合えるまちづくりにつながっていることを実感した瞬間でした。



### ＝そして・・・＝

新型コロナウイルス感染症の出現により、子どもたちの日常は大きく変わる事となりました。これまで児童館が大切にしてきた人と人との触れ合い、多世代の交流がストップ。子どもたちの居場所として機能してきた児童館も臨時休館。それでも職員の目はより広く児童館の外にいる地域の子どもたちへと注がれていました。また“閉まっても”子どもやママたちは、児童館の職員を訪ねてきてくれました。もちろん距離を取りながらですが、児童館の機能や役割がストップすることはありませんでした。“ここに児童館があること”“ここに児童館職員がいること”が地域にとって価値あることだということが、さらに浸透していくよう、コロナ禍であっても、地域とのコミュニケーションを大切にしながら、児童館が地域を支え、地域に児童館が支えられる循環を止めないよう、できることを考えて実行していきたいと思えます。

### 編集後記

肌寒い季節となり、いっせいに木々が色づいてきました。

今回の巻頭記事では、3部門の若手職員たちに、協会の本音を思う存分語っていただきました。初めは少し緊張も見られましたが、すぐに打ち解けていい雰囲気。将来を担う若手職員のみなさんは、それぞれに法人の未来をしっかりと考えており、とても嬉しく思いました。これを機に、協会はさらに進化して行かなければと気持ちを引き締めました。

- 情報誌 Associé [アソシエ] 第7号 (2020年11月号)
- 発行/社会福祉法人京都福祉サービス協会
- 編集/広報委員会
- 所在/〒600-8127  
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1  
ひと・まち交流館京都 4 階
- 電話/075-354-8745 (代表) F A X / 075-354-8746